



安永六酉稿

聖節

石翁

玄兒

壽の拙出ものよ千代乃春

良至もゆー聖耀の正月

野童

快活オモシロク 真由侍来も日永也

十口

二

後水亭

鉄子

咲掛の初日登山の階かき

面袋指のゆり梅の虫

玄兒

夢蘭と鳥の仲良か答へ

湘南

三

雨暎堂

野童

房蘇平 砂委を千代の深かき

ちろめ産をゆりこの初

鉄子

離使のやま言葉と習ふん

玄兒

除夕

あやふふまきほすし例彦飯

十口

蝶の日は夷中えつり京せ良

鉄子

来うまのゆもゆへんこり極は和

野童

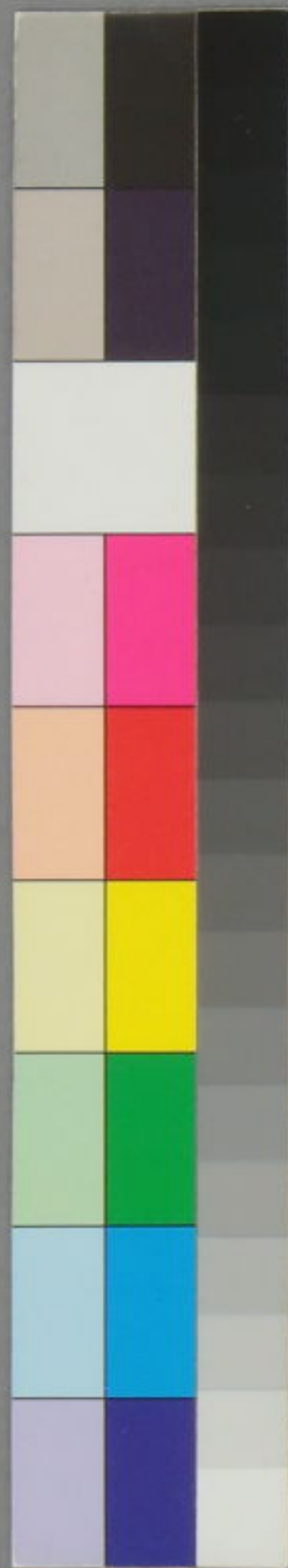
年杢之春

卯子う春の初せむむ陸頭

石翁

筆名

羽録の并其を頼ん沙走心



15